

五

一月

平初局

横港第一二三號

大正十四年一月十四日

司令官

参謀

副官

14

大正十四年一月二十八日

官房

海軍大臣 財部 彪 殿

横港第一二三號

海軍大臣 財部 彪 殿

第一課 還納雜役 船受領報告二件

船

第一課

還納

雜役

船受領

報告二件

理由

公稱第三三五号

横須賀

一月十二日

別紙月

大正十三年十月六日 横須賀第一四五九

公稱第三三六号

海軍工廠

一月十二日

別紙月

大正十三年十月六日 横須賀第一四五九

若報 告ス

印

別紙附屬品目録十六葉添

總務部

第三課

印

印

印

印

海軍

0055

ロ ー ア マ ス ト	機	風	機	昇	ハ	ハ	ハ	ハ	上	同	機
	雷	扇	首	降	ンド	ンド	ンド	ンド	甲	同	橋
	針	器	麻	口	レ	レ	レ	レ	板		上
			竿	覆	ール	ール	ール	ール	天	棟	天
				金	用	ス	ス	ス	幕	木	幕
			具	具	案	タ	タ	タ	任		任
						ン	ン	ン			
貳	寺	寺	寺	・	・	若	二	三	壹	三	六
前				同	同	干	同	〇			
後						上		機			
部						甲		橋			
						板		上			

海
軍

0057

前部至空氣入頭部 器具	後部至	機被至	士官至	准士官至	始所	貳號彈藥庫	後部下甲板空氣拔頭部 器具	中部彈藥庫空氣入頭部 器具	下甲板舷窓風取兩舷	水
貳	貳	四	貳	貳	參	壹	四	壹	參	壹
		兩舷								

海軍

0058

機 引 出 付 機	機 號 紙 樹	絞 盤 手 提	號 令 管 口	各 甲 板 昇 降 用 梯 子	大 更 器	ク レ ー チ ン グ	折 洗 面 器 臺
							前 部 三 吋 他 臺 用 ク レ ー チ ン グ
機 引 出 付 機	機 號 紙 樹	絞 盤 手 提	號 令 管 口	各 甲 板 昇 降 用 梯 子	大 更 器	ク レ ー チ ン グ	機 引 出 付 機
							機 號 紙 樹
機 引 出 付 機	機 號 紙 樹	絞 盤 手 提	號 令 管 口	各 甲 板 昇 降 用 梯 子	大 更 器	ク レ ー チ ン グ	機 引 出 付 機
機 引 出 付 機	機 號 紙 樹	絞 盤 手 提	號 令 管 口	各 甲 板 昇 降 用 梯 子	大 更 器	ク レ ー チ ン グ	機 引 出 付 機

海軍

0059

ス プ リ ン タ 付 殿	兵 員 食 卓	端 舟	紋 燈	燭 尾 連 刀 扇 燈	兵 員 食 器	書 籍	圖 兵 員 室	靴 襪	信 號 旗	下 士 官 兵 衣 服
壹	參	參	貳	壹	貳	壹	壹	參	壹	貳
准 士 官 以 上 諸 室						准 士 官 以 上 諸 室		兵 員 室		

海
軍

0060

フ	敷	天	敷	靴	海
ク	窓	窓	窓		
釣	紐	同	柄		圖
床	金				
用	物		子	箱	函
若干	八〇	四一	八〇	貳	壹

海軍



0061

品名	数量	記
移働綱索固結器	壹	鐵
麻索用絡車	參	・
パウアンカイ	貳	・
同 鐵	貳	一節ノ尋 一二、五
鐵鎖庫スリッブ	貳	鐵
甲板同	貳	鐵
スウキウルピース	貳	鐵
接鎖鐵	參	鐵
鐵	貳	鐵

掌帆之部

海軍

事

0062

ス	ペ	リ	綱	ス
	ツ			
	キ			
テ	ス	フ	梯	テ
	テ			
!	!	ト	子	!
貳	貳	貳	壹	貳
・	二五	三二	二五	三八
	粘	粘	粘	粘
三六米	三九米	七米	二〇、四米	二〇、四米
・	・	・	・	柔軟鋼

海軍

(終)

0063

小銃棚下土板二區	魚雷取入用ダビット	垂直線引入口筒	避雷線前橋	藥瓶棚	校閲附書物ナレ
壹	壹	壹	壹	貳	
砲術長主管	水雷長主管	軍醫長主管			

海軍

0064

公稱第二五二五號（舊博雲）機關目錄						
品名	主機	送水唧筒	主給水唧筒	補助給水唧筒	舵取機	揚鏟機
基	量	記				
基	量	記				
貳	貳		貳	貳	壹	壹
參						

海軍

事

0065

不知火附屬品目録

船匠ノ部

事

品名	数量	備記
前部 トップ マス ト	壹	
綱 シグナル ヤード	貳	上下
前橋 ツ ラ ツ ク	壹	
同 デ リ ツ ク	壹	
ダ ビ ツ ト	貳	
アンカー ダ ビ ツ ト	貳	
ビレイ イン グ ビ ン	四	
機橋 上 天 幕 柱	六	
同 棟 木	壹	長二、〇〇米

0066

航空気具 金具 走	上甲板天幕柱	登	
	ハンドレールスタンション	或八	欄橋
	同	若干	上甲板
	昇降口覆金具	・	
	艦首旗竿	登	
	前部空気入頭部金具	貳	
	後部同	貳	
	機銃室空気取頭部金具	貳	兩舷
中甲板空気入頭部金具	若干		
中甲板舷窓風取兩舷	貳〇		
排水管	六		

海軍

0067

スプリング付 鞆 巻	暖簾 掛 金 具	帆	旗 號・旗 掛	釣 床 用 フツク	號 令 管 口	大 兵 用 大 便 小 便 用 器 子	ク レ ー チ ン グ	洗 面 器 臺	糞 水 官
八	四	參	壹	貳〇	參	壹〇 壹 壹	參	貳 壹	壹
船長室、操備室、准士官室	船長室、准士官室	士官室、准士官室、機要室	左舷		前橋橋、司令塔	船橋、一區、二區、三區、四區、五區、六區、機要室、二、三、四、五	士官使所 下士官室	下中級、准士官室	海軍

0068

	天	枝	新	扇	兵	旗	慈	知	海
	窓	窓		號	員	尾			
	滑	滑		旗	食	速	燈	船	圖
	子	子	箱	函	器	刀	燈	燈	燈
	四	八	壹	貳	四	壹	壹	參	壹
						兩	散		
							編		
									海
									軍

(卷)

0069

船 取 車	鋪	スウキウル ビス	甲板 同	鉛 鉛庫 スリ ツブ	パウ アン カー 用 顔	同	瀧 築 用 絡 車	パウ アン ン カ ー
	貳	貳	壹	壹	參	參	貳	貳
					下 甲 板			掌 帆 之 部

海軍

(終)

0070

ス	ス	ス	ス	ス	ス	ス
テ	テ	テ	テ	テ	テ	テ
子	子	子	子	子	子	子
壹	貳	貳	貳	壹	貳	貳
三八粒二〇四米	二五粒二〇四米	三二粒七米	二五粒三九米	三六粒	一九粒二一	(終)
掌帆ノ部	綱類					
海						
軍						

0071

飲水管

砲術長主管

無線電信 隔 鐵 物

壹〇球形徑 500 米 水雷長主管

垂直線引入 口

壹 圓 高 100 米

避 雷 針

壹 鋼 長 1500 米

藥 瓶 棚

軍醫長主管

主計長主管

機關長並付官附屬品無

(終)



公稱第二五二六號（舊不知火）機關目錄

海

事

品名	主機	送水機	主給水機	補助給水機	乾取機	揚鉢機	主鉢機
名數	・	・	・	・	・	・	・
備註	貳	貳	貳	貳	壹	壹	壹

0073

軍務局長

佐港第一六號ノ一六

大正十四年三月二日

第一課

粒良佐世保海軍港務部部員

中尾海軍省軍務局局員殿

生駒傳馬船ノ處分ニ關スル件

兼テ御依頼ノ海軍兵學校ニ配屬シタル生駒傳馬船ノ整理方法ニハ
二案アリテ之レニ對スル當部ノ意見左記ノ通ニ有之候

第一案 御意見ノ如ク公梅第二四八一號同二四八二號（生駒搭
載ノモノニシテ兵學校ニ配屬シタルモノ）ノ廢船處分ヲナスコ
ト

問題ノ傳馬船ハ既ニ海軍兵學校ニ配屬セラレタルコトトテ當鎮

一四三。佐世保中尾海軍港務部ノ於テ
手紙ありし事分る事ト
專代務トシテ十年分中ニ傳馬船之區あり
14. 3. 2

第一〇號

雜役船

0074

守府ニテ直ニ廢船處分ヲナスコト能ハサルヲ以テ左ノ如キ手續ヲ經ルヲ要ス

一、當鎮守府及當工廠ノ了解ヲ得テ問題ノ傳馬船二隻ノ船体老朽ニシテ使用ニ堪ヘサル検査證ヲ作製ス

二、當港務部ニテハ右検査證ヲ添ヘ傳馬船二隻ノ廢船處分ノ必要ナル旨海軍兵學校ニ通知ス

三、海軍兵學校ニテハ吳鎮守府司令長官ニ廢船處分ノ上申ヲナシ吳鎮守府司令長官ヨリ當鎮守府司令長官ニ廢船處分ヲ委託ス此ニ於テ當鎮守府ニテ處分ヲナスコトヲ得ルコトトナル

第二案 當港務部配屬ノロロナル傳馬船ヲ生駒傳馬船二隻ノ身

代リトシ便船次第海軍兵學校ニ送付シ當部ノ傳馬船^〇ノ廢船處分ヲナス其ノ代リ大正十四年度ニ於テ必ス之レカ補充ヲナスヲ要ス

本案ニ依ルトキハ當港務部ニテハ便船有リ次第^〇ナル傳馬ヲ生駒ノ通船トシテ海軍兵學校ニ送付スルト同時ニ當鎮守府及當工廠ノ了解ヲ得テ^〇傳馬船ノ廢船處分ヲナス

之レヲ要スルニ第一案ニ依ル時ハ書類ハ吳ノ鎮守府、工廠、港務部及海軍兵學校ヲ經由スルヲ要シ其ノ間ニ面白カラサル結果ヲ惹起スルヤモ計ラレス然ルニ第二案ハ單ニ當鎮守府内ニテ處分スルコトヲ得ルノミナラス第一案ニ^〇テハ海軍兵學校希望ノ如ク四月頃迄ニハ到底處分濟ノ運ヒニ至ラサル虞アルモ第二案ハ本月中ニ

海軍

傳馬船二隻ヲ海軍兵學校迄送付スルコトヲ得ヘシ

當港務部トシテハ此際傳馬船二隻ヲ失フハ非常ナル苦痛ナルモ各

方面ノ情狀ヲ考慮シ第二案ニテ處分スル希望ニ有之其ノ代リ大正

十四年度當部ノ爲メ新造豫定ノ雜船ニ何等ノ變更ヲ與フルコトナ

クモ傳馬船ノ代船ノ補充ヲ希望スルモノニ屬有之候

右ニ依リ何レノ案ニ依リ處分スルヲ御希望ナルヤ至急御通知ヲ得

度

右照會ス

(終)

0077

軍務局

電報 凡十丁及信	甲路の第一隊宛 以て其の漢	第一課	昭和十一年十一月五日	陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省	陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省	陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省	陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省	陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省	陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部 陸軍省
----------	---------------	-----	------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------

横造半葉十一行野紙

海軍

0078

海軍

模造半葉十三行官紙

大正十四年三月十三日

海軍第一課長

第十三軍軍第五五六號ニハ滯来意通り解
報ニテ善支ヤレ

軍務局



第一課



中尾

0079

海軍

横造半葉十三行野紙

陸務局 第一課 (陸洋)

大正十四年三月二十日

局長

佐鎮 兼 傳 長 左

旧軍艦 級 廢 棄 却 知 分 開 之 件

本件之開しより三月三日附軍務部秘書九回呈し以て依命
申進し之亦已有之也。今般様之症之移す改述
書并空申書多額之見込ニヨリ保轉方再
之を旨申出有之也。此ニ付、
在依命下申進す

經理局 第二課 (陸)

(陸)

本件は海軍省に於て既に決定し

第一 陸務局

0080

14.3.23



軍第五五六號

大正十三年九月三十日

軍務局長

佐鎮參謀長殿

除籍艦處分ニ関スル件

首題ノ件ニ関シ九月二十二日官房第二九〇一號ヲ
 以テ訓令相成候處支那動乱ノ現状ニ鑑ミ何
 分ノ指令アル迄賣却亦一時見合相成度
 右依命申進ス

(3)

海軍

0081



軍第五五六號ニ

大正十三年十二月二十三日

軍務局長

佐鎮參謀長殿

除籍艦賣却處分ニ関スル件

首題ノ件ニ関シ九月三十日軍第五五六號ヲ以テ一
時見合方申進置候處作今其必要無之ト認メ
ラレ候ニ就テハ賣却方可然御取計相成度
右依命申進ス

(了)

海軍

0082

大正十四年二月二十日起案 起案者 捺印

(振電) 艦政本部長

大 閣

副官

次官 參事官

軍務局長

第一課長

經理局長

第二課長

軍需局長

第一課長
第二課長
第三課長

指 令 案

大正十四年三月十五日

大 臣

二月十六日附横鎮第一五九號ノ上申雜役船廢船ニ関スル件

認許ス

官房第10又第11

本艦 14.3.2 受接

大正十四年三月廿日發布

本艦 14.2.24 受接

本艦 14.3.2 受接

本艦 14.3.2 受接

總務部長

第一課長
第二課長
第三課長

第四部長
第三部長

中尾

中川

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	總務	人事	軍務	官房	局部
												受月日	發月日

0083

軍務局

本局

横銀第一五九號ノ二

大正十四年二月十六日

横須賀鎮守府司令長官

加藤 寛

海軍大臣 財 部 彪 殿

第四部

雜役

船廢船ニ關スル件

左記雜役船ハ別紙検査報告ノ通船體機關共ニ衰朽甚シク修理再用ノ

價額ナシモノトシテ第一課ニ付廢船ト致度候條御認許相成度

右 上 申 部 第一課

左 記

第一課

横須賀海軍港務部保管

本稱第十二〇四九號標的船（舊叢雲）

（別紙添）

電報ヲ横港ヲテ削除及ビ會下リ

前港

終

官房第（ハ）リ又

本局 14.2.19

14. 2. 1 軍 官房受 二月十八日

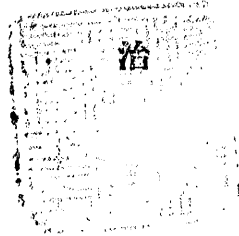
0085

紙 箋 附



14
軍 官房受

寛



一 甚シク修理再用ノ
一 認許相成度

雲)



終

0085

紙 箋 附

大正十四年二月十八日

艦政本部 啓

秦所知方 可然

海軍省軍務局

0086

(丙様式)

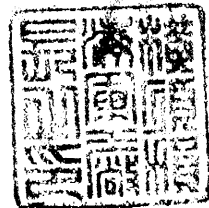


検査報告

横須賀海軍工廠長

正木 義

大正十四年 一月三十日調



0087

見所	現 状 摘 要				
	補機	罐	機械	艦装及品	船殼
<p>一 船体其他全般ニ亘リ衰朽シ船底浸水箇所ハ應急的處置ヲ施シアル狀況ニシテ多額ノ費用ヲ投シ修理スル價值無ク廢船可然モノト認ム</p> <p>二 機關ハ全般ニ亘リ衰朽甚シク補機ノ一部ハ修理ノ上再用ノ見込アルモ他ハ多額ノ費用ヲ投シ修理スル價值ナキモノト認ム</p>	右 全	右 全	全般ニ亘リ衰朽甚シ	右 全	全般ニ亘リ衰朽

- 一、現狀摘要欄ニハ一般及諸要部ノ現狀ヲ記載シ必要ト認ムルトキハ續通試験ノ成績ヲ添付スヘシ
- 二、所見欄ニハ本船艇ノ處分ニ關スル所見ヲ記載シ尙參考トシテ左ノ事項ヲ附記スヘシ
 - (1) 尙使用セントセル之ニ要スル修理費及修理後ノ使用見込年月
 - (2) 他種ノ雜役船トシテ利用方途ノ有無若シ有リトセハ之カ改造ニ要スル工事方策及費算

0088

五

海軍局

一月二十

司令長官

参謀長

副官

参謀

掛港第一号四號三

大正十一年一月十日

海軍大臣財部 彭 啟

第一課 還納雜役船受領報告、件
名 還納元 受領月日 様装品 還納理由

一 海軍軍醫學校 一月十二日 別紙一通 大正十一年一月十日 横領第一二六号ニ認許依リ

右報告書

第四部



(別紙附屬品目録六葉添)

總務部

第三



電報、掛港、高橋、小島、中野、山本、佐藤、鈴木、田中、山崎、松本、石川、渡辺、森、山本、佐藤、鈴木、田中、山崎、松本、石川、渡辺、森

海軍

0089

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

舊叢書附屬品目録

船匠ノ部

海軍

品名	材質	数量	量記
前部アツバマスト	木	壹	
前部ロアイマスト	・	壹	
前部シゲナルヤード	・	壹	
後部シゲナルヤード	・	壹	
前部ガルフ	・	壹	
前部椅ウラツク	・	壹	
アンカーダビット	・	貳	
後部櫓ウラツク	木	壹	
ビレーイングピン	鐵	參	

事

0090

大 便 器	飲 料 水 罐	清 水 罐	各 室 空 氣 入 頭 部 金 具	遊 雷 針	砲 首 腕 竿	ハ ン ド レ ィ ル ス タ ン シ ヨ ン	ハ ン ド レ ィ ル ス タ ン シ ヨ ン	ハ ン ド レ ィ ル ス タ ン シ ヨ ン	ハ ン ド レ ィ ル ス タ ン シ ヨ ン	ハ ン ド レ ィ ル ス タ ン シ ヨ ン
銅	・	・	鐵	銅	・	・	・	・	・	鐵
壹	壹	參	貳 〇	壹	壹	貳 六	四	壹 四	六	貳 八
						上 甲 板 上	同	船 首 樓 甲 板 上	・	艦 橋 上

海
軍

0091

大	便	益	鐵	貳	海	軍
號令管口(司令塔)	鐵	鐵	壹			
フック(釣床用)	鐵	鐵	貳〇			
端舟	鐵	鐵	貳			
般燈	鐵	鐵	貳			
兵員食器棚	木	鐵	貳			
下士官兵衣服	木	鐵	壹五			
般窓硝子	硝子	鐵	七九			
天窓硝子	硝子	鐵	參四			
橋上天幕柱	鐵	鐵	六			
鐵	鐵	鐵	六			

0092

手動	梯子	兵員	艦橋上
脚筒	(目上)	輜子	天幕
(皮所屬)	至船橋及下甲板)	棚	棟
真鍮	鐵	〃	本
壹	九	貳	六

海軍

(終)

0093

事	油	主	蛇	蒸	送	補	儲	主	品
業	タ	給	取	化	系	助		機	
服	ン	水	機	器	機	給		械	名
棚	ク	曜	械		筒	水		基	数
		筒				曜			情
									数
									量
貳	五	貳	壹	壹	壹	貳	參	貳	記

機油科ノ部

事

海軍

0095

大正十四年三月九日

起案除

月

日

時

案係後起

案係除印

中

(提案) 艦政本部長

大臣閣

副官

次官 參事官

軍務局長

第一課

經理局長

第二課長

軍需局長

第一課長
第二課長
第三課長

總務部長

第三課長
第二課長
第一課長

第四部長
第五部長

指令案

大正十四年三月廿五日

大臣

二月二十七日附吳鎮江三野ノ三四ノ上申雜役船廢船處分件

認許ス

官房第一〇〇五ノ

一

軍需局長

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部	受月日	發月日

0096

Table with multiple vertical columns and no text inside.

ノ

算

（編文社地）

0097

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

大正十四年 二月二十七日
 中川部員
 海軍大臣財部廳
 竹下
 勇
 三三三〇四

14.3.4
 14 313
 管房受

吳鎮守府司令長官 竹下

海軍大臣財部廳

第四部 雜役船廢船處分ノ件

舞鶴安港部港務部保管中ノ左記雜役船ハ何レモ現
 狀別紙舞鶴安港部工務部長検査報告ノ通ニ有之廢
 船處分致候條御認許相成度

右 上 申 ス

第一課	船種	還納	元	記	事
公稱番號	汽艇	舞鶴安港部工務部			
第二一五號					
第三四九號					

官房第一〇〇九號

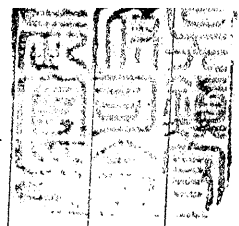
(別紙一通添付)

海(終)軍

三六

紙箋附

0098



以船ハ何レモ現
通ニ有之廢

奉

(終)軍



三ノ六。

0098

紙箋附

大正十四年三月三日

艦政本部事務

齊初分

海軍省軍務局

0099



舞臺工第二種ノ一〇ノ一

公称第三五種、公称第三四九種此紙検査報告

舞臺要港部工作部長

大正十四年一月二十五日調

現 船	現 船	現 船
船 機 機 機	船 機 機 機	船 機 機 機
全体老朽ニテ破損甚ク修理迄未使用見ル	全体老朽ニテ破損甚ク修理迄未使用見ル 大正十三年九月施行ノ見舞金ノ況報生カス	永年使用結果各部摩耗甚ク且ツ中心部倚リ各部 焼損箇所大修理ヲ要シテ使用ノ見ル

0100

摘要 四九号	所 見
機 械 補 機	<p>一、公林第一二五号汽機 二、公林第一二五号汽機 三、公林第一二五号汽機 四、公林第一二五号汽機 五、公林第一二五号汽機 六、公林第一二五号汽機 七、公林第一二五号汽機 八、公林第一二五号汽機 九、公林第一二五号汽機 十、公林第一二五号汽機 十一、公林第一二五号汽機 十二、公林第一二五号汽機 十三、公林第一二五号汽機 十四、公林第一二五号汽機 十五、公林第一二五号汽機 十六、公林第一二五号汽機 十七、公林第一二五号汽機 十八、公林第一二五号汽機 十九、公林第一二五号汽機 二十、公林第一二五号汽機 二十一、公林第一二五号汽機 二十二、公林第一二五号汽機 二十三、公林第一二五号汽機 二十四、公林第一二五号汽機 二十五、公林第一二五号汽機 二十六、公林第一二五号汽機 二十七、公林第一二五号汽機 二十八、公林第一二五号汽機 二十九、公林第一二五号汽機 三十、公林第一二五号汽機 三十一、公林第一二五号汽機 三十二、公林第一二五号汽機 三十三、公林第一二五号汽機 三十四、公林第一二五号汽機 三十五、公林第一二五号汽機 三十六、公林第一二五号汽機 三十七、公林第一二五号汽機 三十八、公林第一二五号汽機 三十九、公林第一二五号汽機 四十、公林第一二五号汽機 四十一、公林第一二五号汽機 四十二、公林第一二五号汽機 四十三、公林第一二五号汽機 四十四、公林第一二五号汽機 四十五、公林第一二五号汽機 四十六、公林第一二五号汽機 四十七、公林第一二五号汽機 四十八、公林第一二五号汽機 四十九、公林第一二五号汽機 五十、公林第一二五号汽機 五十一、公林第一二五号汽機 五十二、公林第一二五号汽機 五十三、公林第一二五号汽機 五十四、公林第一二五号汽機 五十五、公林第一二五号汽機 五十六、公林第一二五号汽機 五十七、公林第一二五号汽機 五十八、公林第一二五号汽機 五十九、公林第一二五号汽機 六十、公林第一二五号汽機 六十一、公林第一二五号汽機 六十二、公林第一二五号汽機 六十三、公林第一二五号汽機 六十四、公林第一二五号汽機 六十五、公林第一二五号汽機 六十六、公林第一二五号汽機 六十七、公林第一二五号汽機 六十八、公林第一二五号汽機 六十九、公林第一二五号汽機 七十、公林第一二五号汽機 七十一、公林第一二五号汽機 七十二、公林第一二五号汽機 七十三、公林第一二五号汽機 七十四、公林第一二五号汽機 七十五、公林第一二五号汽機 七十六、公林第一二五号汽機 七十七、公林第一二五号汽機 七十八、公林第一二五号汽機 七十九、公林第一二五号汽機 八十、公林第一二五号汽機 八十一、公林第一二五号汽機 八十二、公林第一二五号汽機 八十三、公林第一二五号汽機 八十四、公林第一二五号汽機 八十五、公林第一二五号汽機 八十六、公林第一二五号汽機 八十七、公林第一二五号汽機 八十八、公林第一二五号汽機 八十九、公林第一二五号汽機 九十、公林第一二五号汽機 九十一、公林第一二五号汽機 九十二、公林第一二五号汽機 九十三、公林第一二五号汽機 九十四、公林第一二五号汽機 九十五、公林第一二五号汽機 九十六、公林第一二五号汽機 九十七、公林第一二五号汽機 九十八、公林第一二五号汽機 九十九、公林第一二五号汽機 一百、公林第一二五号汽機</p>

0101

大正十四年三月九日起案
起案者 捺印

(提案) 艦政本部長

大臣閣

副官

次官 參事官

軍務局長 第一課長
經理局長 第二課長
軍需局長 第一課長
第一課長
第二課長
第三課長

指令案

大正十四年三月廿五日

大臣

二月二十三日附吳鎮第三號ノ三五上申雜役船發船處分

一件認許ス

官房第一〇一九號

大正十四年三月廿六日

發行後起
案者捺印

14.3.13
14.3.12
14.3.11

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技本	法務	經理	艦務	艦關	艦政	人事	軍務	官房	局部	受月日	發月日

0102

吳鎮守府三三三三三

大正十四年 二月二十六日

吳鎮守府司令長官 竹下 勇

海軍大臣財部廳

第四部 雜役船廢船處分件

吳海軍港務部保管中、左記雜役船検査セシメ候處
現状別紙検査報告通算之廢船處分致度候條御
認許相成度

右上申す

第一課

記

公稱番號 船種 還納元 記 奉

第一二九號 汽艇 吳海軍港務部

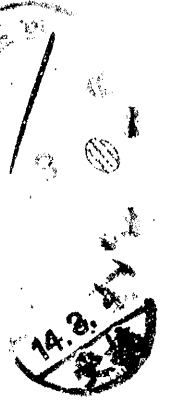
(別紙一葉添)

(終)

官房第一二九號

海軍

軍需第一二九號



14.3.14

三月二日 官房受

0104

汽艇、公稱第一二九號

検査報告

吳海軍工廠長

大正十三年十一月二十日調

見所	要摘		現狀	
	機	備	機	船
込ナキヲ以テ廢船處分至當ト認ム	大正十二年十二月大修理ヲ施行セシモノニシテ良態ナリ	大修理ヲ施ササレハ使用不可能ナリ	各部破損箇所多シ	船殼 肋材及外板ハ腐蝕甚シ、船縁材、梁受材及甲板等ニ破損箇所多ク修理ノ見込ナシ
罐ハ良態ナレ共機械ハ舊式ニシテ大修理ノ價値ナク船体亦修理ノ見				

「修」

海軍

本 冊

0105

(2)

大正十四年 三月 九 日起案
起案者 捺印

三月九日
三月十一日
三月十二日
三月十一日
三月十一日
三月十一日
三月十一日

(提案) 艦政本部長

大臣院

副官

次官

軍務局長

第一課

經理局長

第二課

軍需局長

第一課
第二課
第三課

總務部長

第三課長
第二課長
第一課長

第四部長
第五部長

指令案

大正十四年 三月 廿 日

大臣

三月二十八日附佐鎮第三八號ノ三ニ取上申々雜役船廢船

件認許ス

官房第一〇二〇ノ人

軍令	水路	臨建	教育	造兵	技木	法務	經理	事務	艦政	人事	軍務	官房	局部

0106

